

ニカラグア定期報告（2020年8月）

【要旨】

内政・外交面では、米州開発銀行（IDB）がニカラグアの保健システム強化を目的としたプロジェクトを発表し、コロナウイルス対策借款を実施する旨、発表した。また、引き続き中米経済統合銀行（BCIE）、台湾、インドなどからもニカラグアに対してコロナウイルス関連支援があった。保健省発表によるコロナウイルス感染発生からのニカラグアの累計感染者数は、3,733名、累計死者数は141名である（9月1日時点）。一方で、市民監視団体は感染疑い者累計9,998名及び累計死亡者数2,680名（8月26日時点）と発表している。経済面では、米格付け会社ムーディーズがニカラグアの2020年の経済成長率は－4%以上と予測し、さらにニカラグアは中米で唯一2021年でのプラス成長は見込めないと予測した。

【主な出来事】

1 内政・外交

（1） 各国・国際機関のニカラグアに対する COVID-19 関連援助・取り組み

ア IDB による借款

1日、米州開発銀行（IDB）は、ニカラグアの COVID-19 対策である「ニカラグアにおけるコロナウイルス抑制及び供給サービス緩和を目的とした公共保健サービスの早急な対応プロジェクト（Immediate Response of Public Health to Contain and Control Coronavirus and Mitigate its Effect on the Provision of the Service in Nicaragua）」のため4300万米ドルの借款を行う旨、発表した。

イ イラン保健省とのビデオ会談

4日、マルタ・レジェス保健大臣は、Said Namaki イラン保健・医学大臣、Majid Salehi 駐ニカラグア・イラン大使、イサック・ブラボ駐イラン・ニカラグア大使とビデオ会談を行い、両国の保健分野の協力に関する意見交換及び COVID-19 対応に関する情報交換を行った。

ウ インドによる物資援助及び警察警備に関する国際ビデオセミナーの実施

（ア） 17日、3回目のインド政府からの COVID-19 支援物資（ヒドロキシクロロキン、点滴用のパラセタモール、メトロニダゾールなど）がニカラグアに到着した。

（イ） 10日及び11日、ニカラグア国家警察は、インド政府が主催する「パンデミック時代の警察警備」国際ビデオセミナーに出席した。

エ 台湾による支援

- (ア) 24日、ハイメ・ウー当地台湾大使は、カルロス・サエンス保健省（MINSA）事務局長に対して、医療従事者向けマスク30万個を供与した。
- (イ) 25日、中米経済統合銀行（BCIE）は、台湾との1.3億米ドルの借款協定を承認した。本融資は、本年3月30日にBCIE内で承認された「対新型コロナウイルス緊急対応及び経済再生緊急対策プログラム」の枠組みの「グアテマラ、ホンジュラス、ベリーズ、ニカラグア向け公共セクター資金調達クレジット（5000万米ドル）」及び「零細・中小企業（MIPYMES）への融資のための金融セクター助成ファシリティ（8000万米ドル）」の実施に充てられる。
- (ウ) 26日、当国政府は、台湾の援助のもと、チナンデガ県コリント市の Jose Schendell 病院の緊急救命室の修繕及び診療ラボの建設を行う旨、発表した。

オ BCIE の零細・中小企業向け支援及びワクチン購入を目的とした支援

- (ア) 21日、中米経済統合銀行（BCIE）は、ニカラグアの零細・中小企業への支援を発表した。「零細・中小企業への融資のための金融セクター助成ファシリティ」を通じて、零細・中小企業は合計5千万米ドルの融資にアクセスでき、国内の11,000の直接雇用にプラスの影響を与えている。
- (イ) 30日、BCIE 理事会は、「対新型コロナウイルス緊急対応及び経済再生緊急対策プログラム」の枠組みのもと、SICA8ヶ国に対して COVID-19 ワクチンの購入及び適用のため4億米ドルの支援を行う旨決定した。同支援により、当国政府は5千米ドルの供与を得る予定。

(2) 国民連合に関する動き

ア 3日、青と白の国民連合（UNAB）の学生セクターは国民連合から離脱する旨発表した。20日、UNAB は次期大統領選挙で国民連合を新たな政党として出馬する意思を表明する「国民連合内の状況について」というタイトルのコミュニケを発出した。

イ 23日、農民連合（MC）は政権寄りであるとの批判を受け、ツイッター上で「MCは既存政党とのいかなる関係もない」とするコミュニケを読み上げる動画を発表した。

(3) MECHNIKOV でのロシア製 COVID-19 ワクチン製造の可能性

4日、ムリージョ副大統領は、ロシアの支援により設立された当地のワクチン工場である MECHNIKOV で、ロシア製 COVID-19 ワクチン製造に向けてロシア側と協議している旨、発表した。19日、MECHNIKOV の Stanislav Uiba 工場長は、「今年末からロシア製 COVID-19 ワクチンの同工場での製造開始を予定している」と述べた。

(4) オルテガ大統領の国軍医療部隊創設41周年記念式出席

19日、オルテガ大統領は、ムリージョ副大統領、アビレス国軍司令官、バジャルド・ロドリゲス国軍参謀総長、マルビン・コラレス国軍監察官同席のもと、国軍医療部隊創設41周年記念式に出席した。

(5) 保健省(MINSA)によるCOVID-19検査数の実態

19日、アルバロ・ラミレス疫学専門家は、国際ハッカー集団「Anonymous」の情報をもとに、これまで明らかにされていない当国保健省(MINSA)が実施したCOVID-19検査数について発表した。その中で、2月28日から7月24日にかけて、MINSAはCOVID-19検査を17,284回実施し、そのうち9,683の陽性(陽性率56%)であったと発表した。

(6) M&R Consultores 社による世論調査結果

ア 調査方法等

調査期間: 2020年7月—8月

調査対象: 全国16歳以上の男女1,600名

調査方法: 訪問面接式

信頼度数: 95%

イ 調査結果

(ア) 次期選挙で投票するか

投票するだろう	71.8%
投票しないだろう	17.6%
わからない	10.7%

(イ) 支持政党

FSLN	50.3% (強く支持: 41.2%、支持: 9.1%)
野党	10.2% (強く支持: 3.7%、支持: 6.5%)
中立	39.6%

(ウ) もし今日投票するとしたら FSLN 党に投票するか

投票する	37.7%
候補の一つである	15.1%
わからない	5.6%
候補に入らない	12.1%
絶対に投票しない	11.1%

それ以外 18.4%

(エ) もし今日投票するとしたら反政府派に投票するか

投票する	7.8%
候補の一つである	14.5%
わからない	6.3%
候補に入らない	19.1%
絶対に投票しない	27.6%
それ以外	24.8%

(7) FUNIDESによるニカラグアの新型コロナウイルス感染予測

13日、経済シンクタンクであるニカラグア経済社会開発財団（FUNIDES）は、ニカラグアにおける新型コロナウイルス感染予測に関するレポートを発表した。FUNIDESが死亡率から算出した感染者予測は以下のとおり。

8月14日：77,881人

9月13日：80,560～85,532人

10月3日：81,223～96,677人

(8) ニカラグア政府の航空会社に対するプロトコール

当国保健省（MINSA）は、入国者に対して入国前72時間（アジアからの入国者は96時間）以内に実施されたPCR検査の陰性証明書を求めている。それに加えて、ニカラグア着の航空便の乗務員に対しても同証明書の提示を求めている。さらに、ニカラグア政府は、航空会社に対して72時間前までに乗客のリスト及びパスポートのコピーを求めている。

(9) ニカラグアによる在クリミア・ニカラグア名誉総領事の任命に対するウクライナ外相発言

ウクライナのドミトロ・クレバ外相は記者会見において、ロシアによって占領されているクリミア半島で名誉総領事を違法に任命したとして、ニカラグアに制裁を課す準備をしていると述べた。

(10) 保健省（MINSA）によるコロナウイルス発表概要

9月1日、当国保健省は国内の感染状況について週間レポートを発表した。

ア 8月25日から9月1日までの間に、保健省は174名のCOVID-19陽性及びおそらく陽性であると診断されたニカラグア人に対して、責任をもって注意深いフォローアップを行った。また119名がフォローアップ期間を終了した。

イ パンデミックが始まってから今日までの間、保健省は合計3,773名に対し、責任をもって注意深いフォローアップを行った。

ウ COVID-19 感染者及びフォローアップ対象者の大多数は、様々な持病を抱えている。最も多いのは糖尿病、肥満、高血圧、心疾患、免疫不全、慢性腎不全、脳卒中の既往歴、肺結核及び慢性肺疾患である。

エ この1週間の間に、COVID-19 に起因する4名の死亡が確認された。（累計死者数は141名）また肺血栓感染症、糖尿病、急性心筋梗塞、高血圧及び細菌性肺炎によって、複数のフォローアップ対象者が死亡した。

オ 本日（1日）までに、3,458名のニカラグア人が回復した。

（11） 市民監視団体による COVID-19 感染状況レポート概要

28日、市民監視団体（「Observatorio Ciudadano COVID-19 Nicaragua」）は、8月20日～8月26日の期間に関する週間レポートを発表した。

ア 8月20日～8月26日の期間に全国で176件の感染及び感染疑いが報告され、累計9,998名（うちマナグア県3,763名）となった。

イ 8月20日～8月26日の期間に全国で29件のコロナウイルス感染者及び肺炎と診断されたがコロナウイルスの感染で亡くなった疑いが濃い死亡が報告され、累計死亡者数は2,680名となった。

ウ 8月26日までに798名の医療従事者の COVID-19 感染疑いが報告され、また107名の死亡が報告された。

（12） 治安関連

ア 治安専門家のエルヴィラ・クアドラの分析によれば、当国ではコロナウイルスのパンデミック拡大の中、政治的理由による暴力と不安の拡大によって、7月以降、武器使用の強盗、暴力犯罪、殺人など凶悪事件が増加していると分析した。

イ 7日、マナグア市内のコンビニエンスストアにて、男が入口前に座っていた4人に対し、発砲し、1人が死亡、4人が負傷する銃使用の殺人事件が発生した。

ウ 27日、大使館付近にて、両替商の男が複数の者に銃を突きつけられ、殴られ、現金3,000ドル等を奪われる強盗事件が発生した。

2 経済

(1) 2020年上半期の税収

財務・公債省の2020年1～6月国家予算報告書によると、2020年1～6月の税収は約400億コルドバであり、客年同期と比べ2%減少している。最も減少しているのが、税収の約44%（177億コルドバ）を占める所得税であり、パンデミックによる失業及び企業の業績悪化によって客年比－6%としている。

(2) 観光業の状況

バレンティ観光会議所（CANATUR）会頭は、2018年の社会混乱及び新型コロナウイルスの影響によって、2017年と比べ、観光業の約80%の雇用及び76%以上の収益が失われていると発表した。

(3) 郷里送金の減少

マヌエル・オロズカ Creative Associates International 研究員は、「ニカラグアに対する海外送金額は7月時点で約800億米ドルであり、コロナウイルスの影響により前年比－3%程度減少していると述べた。

(4) INSS加入者の減少

パンデミックの影響とりわけ製造業及び商業に対する影響によって、2020年1～5月の期間、社会保険庁（INSS）加盟者は、18,380名（4.3%）減少した。

(5) OPECによる電力事業に関する借款

5日、ニカラグア国会は、OPEC 開発基金（OFID）による南カリブ沿岸自治区の電力アクセス改善事業に係る借款協定を承認した。同事業の予算規模は、2,300万米ドルであり、OPEC 開発基金（OFID）から2,050万米ドルを借り入れる。

(6) BCIE との住宅建設借款協定

18日、中米経済統合銀行（BCIE）は、「ソーシャル・インタレスト住宅建設国家計画（Nacional Social Interest Housing Program）」実施に向けて、ニカラグア政府と1億7165万米ドルの借款協定を結んだ旨、発表した。同借款は、ニカラグアの55市町村の貧困家庭の住宅建設に使用され、18,660家庭が恩恵を享受する予定である。

(7) ムーディーズによるニカラグア経済予測

米格付け会社ムーディーズは、ニカラグアの2020年の経済成長率は－4%以上と予測した。また、2021年には中米地域の経済は回復していく見込みのなか、ニカラグアは中米で唯一2021年でのプラス成長は見込めないと予測した。

<主要経済指標>

	2018 年	2019 年	2020 年		
			6 月	7 月	8 月
インフレ率（対前年同月）	3.9%	6.1%	3.6%	未発表	未発表
貿易収支（百万ドル）	▲2,312.4	未発表	未発表	未発表	未発表
輸出 FOB（百万ドル）	2,516.9	未発表	未発表	未発表	未発表
輸入 FOB（百万ドル）	4,829.4	未発表	未発表	未発表	未発表
海外送金受取額（百万ドル）	1,501.2	未発表	未発表	未発表	未発表
外貨準備高（百万ドル/期末）	2,261.1	2,397.4	2,738.3	2,767.6	未発表

（出典：ニカラグア中央銀行）

（了）